

# Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.124)



2017年10月号



三河港湾事務所だより

## 田原市立中山小学校を表彰

～海をきれいにするための奉仕活動に貢献～

三河港湾事務所では、海をきれいにするための活動に貢献された団体や個人の方を対象に、毎年度表彰をしています。

今年度は、田原市にある西の浜の海岸清掃を継続的に行っている田原市立中山小学校を三河港湾事務所長表彰として表彰しました。9月1日(金)に、同小学校の2学期の始業式の後の時間を頂き、代表児童に表彰状を授与しました。

同小学校では、平成25年から総合的な活動として海岸清掃を始め、近年では海岸清掃とあわせて潮干狩りや釣りの体験を行うなど、地域の海に目を向け、その素晴らしさを体感し、ふるさとの海を守っていかうとする気持ちを育む活動に取り組まれています。



表彰式の様子



海岸清掃の様子



活動場所

三河港湾事務所では今後もこのような他の模範となるような取り組みを積極的に取り上げ、応援していくとともに、地域の海を地域の皆さんと一緒に守っていきます。

## 豊橋市総合防災訓練で防災啓発展示を行いました

9月3日(日)に豊橋市総合防災訓練が行われ、メイン会場の豊橋総合スポーツ公園では各機関による地震被災対策訓練が行われました。



火災防衛訓練での一斉放水  
(豊橋総合スポーツ公園会場)

三河港湾事務所は、サテライト会場となった前芝小学校で、昨年4月に発生した熊本地震の被害と最新の復興状況について、防災意識啓発のためのパネル展示を行いました。

また、過去の災害事例として、平成21年の台風18号の高潮浸水による被害のうち、特に被害の大きかった三河港神野地区の被災状況を、事務所作成の記録映像や当時の気象・海象記録、被災写真を展示し、説明しました。



パネル展示と来場者の様子  
(前芝小学校会場)

前芝校区では今年8月、突風による被災を経験していることから、身近な問題として関心が高く、たくさんの方が見学されていました。



## 「ぱしふいっくびいなす」が蒲郡に寄港しました

8月21日（月）に、クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が三河港蒲郡地区に寄港しました。「ぱしふいっくびいなす」は、全長183メートル、総トン数26,594トンの日本船籍のクルーズ客船で、昨年10月に蒲郡地区へ初寄港しています。



手筒花火の放揚（蒲郡市提供）



寄港した「ぱしふいっくびいなす」

今回は「夏休み南紀串本・三河蒲郡クルーズ」というツアーでの寄港となりました。夏休み期間中のクルーズということもあり、子どもの乗客も多く、オプションツアーでの豊川稲荷への参拝や、ラグーナテンボスなどに向かう姿が見られました。午後には、蒲郡市によるみかんシロップのかき氷、みかんゼリーのふるまいが行われ、出港の際には、和太鼓の演奏、手筒花火の放揚が行われました。

来年3月9日（金）にも、「ぱしふいっくびいなす」は蒲郡地区への寄港が決まっており、今後、三河港へのクルーズ船の寄港の増加が期待されています。

## 名城大学生が三河湾の環境について学びました

8月29日（火）に、名城大学の学生・教職員の14名が三河湾の海洋環境の実態や環境保全に係る基礎知識を習得するため、海洋実習が実施されました。

本実習は愛知県水産試験場と共同で開催されており、当事務所所有の港湾業務艇「しおさい」を使用し、水産試験場の職員による指導のもと、船上から水質調査や底質調査などを行いました。現地調査の後には水産試験場に戻り、採取した海水中のプランクトンを顕微鏡で観察しました。また、水産試験場職員から三河湾の赤潮、水質について、当事務所職員から港の役割と環境保全に向けた取組についての講義が行われ、学生のみなさんは講義を熱心に聴いていました。



船上で採取した泥の観察



顕微鏡でプランクトンを観察

### 三河港湾ギャラリー



作品No. 54 篠島の海

### 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと  
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00  
(土・日・祝祭日を除く)  
※一部の地域を除きます。

国土交通省  
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>